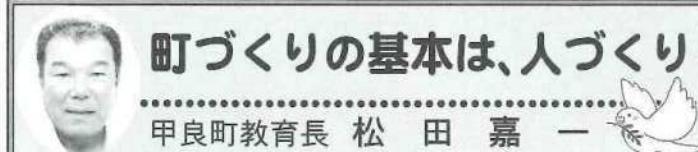


友愛こうら

第90号 発行：甲良町老人クラブ連合会
水と緑に恵まれた、歴史豊かな、この郷土を愛し、
たがいに友情の手で結ばれた老人クラブをめざそう

員の皆様、平素は町行政また教育行政全般にわたり、温か
いご理解と積極的なご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。
心より厚くお礼申し上げます。昨年十月に、甲良町教育長に就任しました
松田嘉一と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。



甲良町教育長 松田嘉一

さて、甲良町老人クラブ連合会の広報誌「友愛こうら」の「友愛」には、自分の周りの人に対する深い思いやりを持つという意味があるそうです。
現在の日本社会を見ますと、地域で暮らす人々の繋がりの「希薄化」「孤立化」を背景として、子育ての問題等が噴出しています。これらの背景や要因には、人づくりの課題が

見えます。「人づくり」は、教育であります。学校教育を、家庭教育を、そして（地域）社会教育を、私たち大人が見直さなければならぬと考えています。見直す大切な視点は、「教育は人づくり」であるということです。人づくりで大切なことは、学校教育においても、家庭教育においても、社会教育においても、「支え合う・助け合う」ということです。そのためには、自分の周りの人への深い思いやりの心が肝心になります。正に、本広報誌のタイトル「友愛」です。「友愛こうら」の町づくりを、町民みんなで進めたいものです。

そこで、甲良町教育委員会は、人づくりを進めるために、今年度より子育て支援センターを取り組んでいます。一つは、児童生徒の「学力向上」を目指す系統的かつ総合的な子育て支援施策を開拓します。この施策は、保・幼・小中のそれぞれの発達段階において身につける力を明らかにして、行政と教育機関そして保護者・地域住民が一体となつて、子育てを進める取組です。

二つには、乳幼児・児童・生徒の健やかな成長を目指す家庭支援施策を開拓します。虐待、不登校、引きこもり等の事案を把握し、その保護者や家族と協力して課題解決への支援を関係機関が連携して進めます。この施策は、町内全ての子どもが健やかに育つ権利を保障する取り組みです。いざなめの取り組みも、次代の甲良町を担う子どもがたくましく育つための施策であります。人を育てることが、まちづくりの基本と考え、この教育施策を、町教育機関全体で推進したいと思います。

甲良町スマイルネット 甲良町老人クラブ連合会行動計画 [2019]	
行動目標1	あいさつ 声かけ・ふれあい・つながる
「あいさつ」に、ひとつことそえて さわやかに	・『気持ちよい“あいさつ”そのあとに 温かい言葉の交流を』 ・『相手を大事にした』話し方で、会話を したい。
さりげなく みんなにしめそう お手本を「さすが、お年寄り!!」	
行動目標2	マナーの向上ルールの順守
いつも きもちのよい 私のまわり	いっぱいしなければならないことがあるけれど、 ・車の運転・最大の注意力で事故防止 駐車場の約束は守ろう ・『ゴミは自分で始末をしよう』を、率先して！

青少年の健全な育成のためには、町民全員が連携をとり、自らのくらしも豊かにしていくこともめざして、甲良町青少年育成町民会議を『スマイルネット』と名称を代えて取り組んでいます。その活動の一つに、『ふれあい』と『ルール・マナーの向上』をめざし、各字、関係団体・機関で具体的な行動目標を設定して実践しています。甲良町老ク連の行動計画は、次の通りです。地域力向上、そして自分自身の充実のため、よろしくお願ひします。

令和元年度

甲良町老人クラブ連合会 役員先進地交流研修会

期 日 7月8日(月) 13時30分~16時10分

★★交流する老人クラブ★★

三好市老人クラブ連合会 会長 松林廣義様 平成30年度全国老ク連会長表彰受賞

結 成 平成18年3月 6町村が合併して発足

会員数等 旧6町村ごとの支所老人クラブ連合会のもと33単位クラブで構成

本年度会員数 2,905人 加入率21.3%

大歩危小歩危峠、祖谷渓で名が知れているところ。市の90%近くが山地。

人口25,925人、世帯数約2,690世帯、60歳以上高齢者13,629人

高齢化率43.5%



はじめに

新鮮さと喜びを感じる新しい令和の時代になりました。高齢者組織である老人クラブづくりに役員様はじめ会員の皆さんのが主体的に参画してくださいました。昨年度より理事・女性委員等の役員研修となり、29名の役員様の参加で開催できました。

一昨年度から老ク連の課題になつてることには、「老人クラブづくり」であります。すなわち、会員が主体者になつてクラブ事業に参画すること、そして、そのリーダー性を發揮していくこと、さらに、組織の連携や交流をもとに今日的課題である高齢者相互の友愛活動のあり方を考え、つくることであります。高齢化社会となつた今私たちの重要な課題であります。

こうしたことから、忙しい中ですが年度の早い時期に開催することとしました。

研修課題

1 委員会や部会活動の推進について

事業の企画・運営組織、活動のあり方

2 友愛活動を基盤にした高齢者の相互支援活動・生活支援等の今日的課題について

3 自分たちのクラブを語る

文化研修部担当者の研修記録を中心に、当日の交流・交換研修会の内容をまとめました。
なお、各員個々の記録は、別にまとめて理事会で報告します。

交流・交換

研修会の記録

2 兩連合会からの活動状況等の説明

両会長の挨拶の後、資料と一緒に説明の時間となりました。本町の説明は西川副会長がしましたが省略し、三好市老ク連事務局長岡清次様からの説明やそれに伴う質疑応答についてまとめました。

大会への出演、それに伴う指導者研修会などに多くの会員が参加しているということであります。

1 「みよし小唄」(自作の郷土音頭)の踊りで歓迎

女性部六名の方々が、色鮮やかな予想外の衣装で披露。市の芸能大会、高齢者体育大会への出演、それに伴う指導者研修会などに多くの会員が参加しているということであります。

(1) 市老ク連活動の重点とする目標について

(1)すべてのクラブ・会員一丸となつた会員増強運動についてまとめました。

(2) 社会に貢献する活動の推進

(3) 健康づくり事業を活発に展開し、健康寿命の延伸

(4) 在宅福祉を支える友愛活動の充実

(5) 老人クラブ活動の充実・向上を図るリーダーの養成



『みよし小唄』の披露

私たち甲良町老人クラブが課題にして取り組んでおられることに期待感がありました。すべての単位クラブや会員が結束して取り組んでいくためのリーダーについても課題になりました。

（2）運営・活動推進について
各種活動を効率的かつ専門的に進めるための委員会（総務 広報研修 社会文化 健康安全推進）と部活動（若手 女性）を設置して、事業の執行体制の確立に努められています。それぞれの委員会や部活動の説明を詳しく受けたが、なにでも総務委員会や研修委員会への関心が深く、説明後は質疑応答もこの部分に集中しました。それらの概要を紹介します。

①総務委員会の友愛訪問活動
会員による訪問回数は、年間延べ93、804回で、びつ

（2）運営・活動推進について
各種活動を効率的かつ専門的に進めるための委員会（総務 広報研修 社会文化 健康安全推進）と部活動（若手 女性）を設置して、事業の執行体制の確立に努められています。それぞれの委員会や部活動の説明を詳しく受けたが、なにでも総務委員会や研修委員会への関心が深く、説明後は質疑応答もこの部分に集中しました。それらの概要を紹介します。



《三好町老ク連事務局長の説明》

124人、週2回が102人
月2回が337人ということ
で、驚きました。さらに会員で
ない人へも行っているという
ことで、地域の交流の深さを
感じました。

②総務委員会の事業として
企画・実施している

『まかせて会員活動事業』

平成三十年六月から始まつた事業で、日常の生活のなかで『手助けできる人』『ちょっとしたお手伝いができる人』が登録し、地域で気軽に助けたり助けられたりの関係のなかで、安心して生活ができる環境づくりを推進していく事業です。

③市・県事業と連携した 研修委員会活動

介護予防リーダー養成研修等への積極的な参加がみられます。リーダー養成が図られていて、県や市との連携も密であることがうかがえました。ボランティア保険にも老人連として加入しておられます。



《文化研修部長の質問・研修交流会》



《総勢60名の交流・交換会記念写真》

くりしました。

訪問を希望したり、また、し

援を重視しているということ
で、現在『まかせて会員』は、2
67人登録されているということ

ことです。ボランティア組織としての位置づけで、無料だ

ということです。
このほか、各委員会の活動について説明もされ、質疑や甲良町の取り組みも紹介しながら交流会はどんどん進んでいきました。気がつけば十六時近くになっていました。

どれだけ時間があつても足りないと感じる交流会であつたと感じています。西川副会長のお礼の挨拶もそこそこに、全員で記念写真を撮り、交流・交換会は終わりました。

今回話し合いの内容や交流・交換会のもち方などで感じたことは、老人クラブの事務局が社会福祉協議会にあり、その施策と老人クラブの事業とをうまく融合させながら市老ク連の事業にして社協が事業展開の支援をしていく体制がうまく機能しているということです。とつてもうらやましく感じました。

社協の多くの職員さんがこの交流・交換会にも関わり、受け入れていただいていました。社協の各支所が各地区連合会の事務局となり単位クラブがあるという仕組みで、理事会や会長会などは少なくとも単位クラブの連携を保つて活動が展開していることがわかりました。

これらその他にも女性部活動、事務局体制や会費・助成金等々について質疑、交流も行されました。もつともつと話をしたかったのですが、この研修をみんなのものとして甲良町の老人クラブや地域貢献、福祉の活動に生かしていきたいと考え、会は終了しました。

理事様や女性委員様からの研修記録は別にまとめ、今後に生かしていきたいだけるとあります。

参加の皆様ご苦労

さまでした。また、三好市老人クラブ連合会の皆様お世話になりました。ありがとうございました。

(文化研修部)



『涼しさ漂う夏の簡単おやつづくり』

☆カステラ入りコーヒーフラッシュゼリー

☆いがまんじゅう

☆お麩deラスク



おやつづくりは、内容や用具等と調理の時間、仕事のやり方の関係で、人数があまり多くなるとやりにくいので、午前と午後の部に分けて行いました。

さわやかに琵琶湖周航の歌を唄い、講師の真柴孝子さんからつくり方の概要とポイントの説明の後、分担して調理にかかりました。

おやつは、分量や調理時間、材料を間違うとなかなかうまくいかないので、皆さん慎重に講師さんの指示によって進められました。しかし、高齢になるとやったと思っていてもできていないこともあります。また、自分のペースで進めてしまっているというところもありました。簡単そうに見えてもなかなか難しく、時間がかかりましたが、色鮮やかで懐かしいものや、珍しいおやつができあがりました。

早速、皆さんそろってご試食いただき、更に次回のご案内などもして、終わらせていただきました。お家や字のクラブ・サロンでもつくってみてください。

今回から、字の女性委員さんにお当番をお願いしたり、女性理事(女性部)さんのご支援もお願いしていくように計画させていただきました。これからもこの体制を充実させて取り組みをつくっていきたいと考えています。よろしくお願いします。ご苦労さまでした。

お詫びと訂正をお願いします

前号でグラウンドゴルフ大会成績第3位の上田様の名前が間違っていました。
正しくは、上田富美子様です。謹んでお詫び申し上げ、訂正をお願い申し上げます

『どの老人クラブでも、やっていることは、さほど違はない。』

老人クラブに限らずどんな組織においてもそうであろうと思います。

しかし、実際に見て、訊いていくとその中身は、ずいぶんと違うものです。

企画、計画、運営の詳細を聴きると、その真意が見えてきます。

今号は、役員先進地交流研修を特集しましたが、まさにこのことを実感しました。

さらに、第1ページは、町教育長松田嘉一様に巻頭言をお願いしました。言葉だけではなく、執筆者の心や姿が見える温かい内容で、感謝いたします。

事業を、『ひとのためにさせたいだけ』『自分の功績のためにしていく』

その違いを考えるというエッセイを思い出しました。

さわやかな秋を待ち望んでいます。ご自愛ください。

(広報部)